

10/20 (日)
開場 15:30
開演 16:00
(入場無料)

第4回 工藤篤子賛美コンサート

今秋も工藤篤子さんをお迎えしてコンサートを開催します。深く美しい歌声とメッセージを聞きながら、心癒されるひと時をお過ごしください。

工藤篤子 (地中海ソプラノ) Atsuko Kudo

札幌大谷短大音楽専攻科及び研究科終了後、マドリッド国立声楽院に留学。1987年、スペイン・ヤマハコンクール第一位、ONCEコンクール二位。声質は地中海ソプラノで、オラトリオのソリストとして、またスペイン歌曲のスペシャリストとして、ヨーロッパ各地の国際フェスティバルに招かれる。2000年、「工藤篤子音楽ミニストリーズ」を設立。2011年「工藤篤子ワークショップ・ミニストリーズ」と改称。世界の各地で賛美を通して神の愛と救いを伝えている。ドイツ、ハンブルク市在住。CD「たましいの歌」「Come To Me」「鳥のうた」「神だけが」「讃美」「カンシオン」「ほんとうの願い」著書「賛美のこころ」を出版。

野田常喜 (ピアノ) Tsuneyoshi Noda

大阪音楽大学ピアノ科卒業。現在、クラシックやゴスペルの演奏活動を日本各地で行っている。作曲、編曲、アルバム制作にも力を入れている。オーケストラを思わせるピアノリズムと、その場の臨場感に合わせ、共演者と対話するような演奏法は、多くの感動と共感を生んでいる。



教会からのオススメの一冊

守部喜雅著
「聖書を読んだサムライたち」(いのちのことば社出版)

この物語は、文明開化で取り入れた「洋才」の根底にある聖書の真理が、どのようにして幕末に生きた武士に衝撃を与えたかを追ったものです。そこには勝海舟、福沢諭吉、大隈重信、さらには新島襄、西郷隆盛といったおなじみの歴史的人物と外国人宣教師との意外な出会いの秘話も出てきます。また、坂本龍馬を斬った男の回心記も紹介、それは知られざるもう一つの幕末維新史とも言えるかもしれません。



幕末を動かした男たちの心を揺さぶった聖書をあなたも読んでみませんか。



教会でデイサービスを始めました。



趣味を生かした楽しいひととき



みんなで気持ちよくストレッチ



おいしいお食事前の口腔体操

見学・体験利用受付中！
まずはお電話を!! 0797-73-6077

宝塚栄光教会

牧師：岩間 洋

〒665-0021 宝塚市中州1-15-9

TEL:0797-73-6076

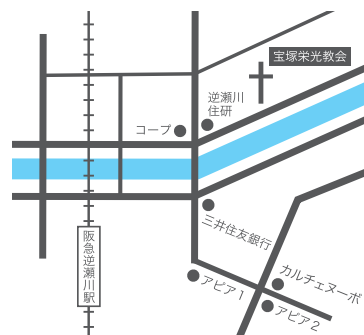
E-mail: iwama@takara-eiko.com

http://www.takara-eiko.com

希望のダイヤル 0797-77-3746
毎週更新。24時間つながります。

わたしたちは統一教会、ものみの塔(エホバの証人)、モルモン教ではなく正統的なキリスト教会です。もしお困りの方はご相談ください。

ポッドキャストでも配信中！
ホームページから利用できます。



そろそろ渡り鳥も飛んでくるだろうかと 秋の空を見あげる



捜しなさい。そうすれば...

子どものころ、宝さがしという遊びをしたことがあります。家の中や庭に隠された“宝”を競って捜していくゲームです。そう簡単に見つかるものではありません。隠された5個のうち、あと1個が見つけれなくて、時間切れになり、悔しい思いをしたものです。

イエス・キリストが言われた言葉で、次の言葉は有名です。「求めなさい。そうすれば与えられます。捜しなさい。そうすれば見つけられます。たたきなさい。そうすれば開かれます。」(マタイの福音書7章7節)

ただ、これを自分の都合の良いように利用する向きもあります。“何でもほしいものを求めさえすれば与えられる”と勘違いし、与えられないと、“神は聞いてくださらないではないか”と文句を言うのです。何を「求めよ、捜せ」と言われているのでしょうか。真理です。真理を求めていけば、必ず与えられる、真理を捜せば、必ず見つかるので

す。真理とは、イエス・キリストの救いです。

ひところ、自ら決断して実行することが出来ない、いわゆる“指示待ち人間”が増えていると言われました。また、“果報は寝て待て”ということわざがあります。確かにそういう面はありますが、しかしキリストの救いは、こちらから積極的に、また真剣に捜していく者に開かれていきます。

神様は私たちが愛しておられます。私たちが幸いな道を歩むことができるように、十字架によるキリストの救いを備えてくださいました。キリストが私たちの罪のために十字架にかかってくださったのです。神様のほうでは、お膳立てができています。あとは、私たちが渴きをもって捜し求めていくかどうかです。

それは、決して見つけにくいところに隠されているのではなく、すぐに見つけやすいところに用意されています。捜しませんか。案外、近くにあるかもしれませんよ。



「フシグロセンノウ」

秋の気配が 心地よく
山の空気を 胸いっぱい吸いたくなる この時期
心も大空のように 広々として
いつもより やさしい気持ちで 歩く

道の端っこの 小さな花にも 心がとまってい
フシグロセンノウは 小さな花びらを しているけれど
その鮮やかな 朱色のゆえに
探さなくても すぐに目に飛び込んでくる

明るい林の中の 樹木の陰など
半日陰の場所を 好むというが
陽の当たらないような場所でも ひっそりと咲く
(最近では 絶滅危惧種のリストラしい)
それだけに 見つけたときは 嬉しい
美しい花姿に 慰めを与えられる

ヒョロヒョロとした茎は まっすぐにのびて
80cmくらいにもなる
その頭頂に 花を咲かせる
秋風が吹きぬけると ゆれている
素朴さが美しい 秋の山野草

主の慈しみは 決して絶えない
主の憐れみは 決して尽きない
それは朝ごとに 新たになる
「あなたの真実は それほど深い
主こそ わたしの受ける分」
とわたしの魂は 言い
わたしは 主を待ち望む

(聖書)